

開館 20 周年記念企画展

加藤泉 何者かへの道

IZUMI KATO: ROAD TO SOMEBODY

2025 年 7 月 5 日(土)～9 月 1 日(月)

島根県立石見美術館

島根県安来市出身で国際的に活躍するアーティスト、
加藤泉の国内では過去最大規模の個展



[1] 《無題》2024 年

©2024 Izumi Kato

撮影：岡野圭

加藤泉は 1990 年代末より画家としての活動をはじめ、シンプルな顔かたちの「人がた」を一貫して表現してきました。2000 年代からは木彫作品にも取り組み、現在は石、布、ソフトビニール、プラモデルなど幅広い素材を取り入れた作品を発表しています。本展では初公開となる高校時代の油絵から最新作までを一堂に会し、これまでの歩みを振り返ります。あわせて音楽活動、ブランドとのコラボレーション、プロダクト制作など、様々な角度から加藤泉の幅広い活動を紹介します。

□ 島根から世界へ 加藤泉これまでのあゆみを一望

初公開となる高校時代の油彩画にはじまり、画家としての活動が本格化した初期作から最新作までを一堂に集め、これまでの歩みを振り返ります。加藤が一貫して取り組んでいる「ひとがた」の表現の変遷が分かります。



[2] 《ムゴン》2000 年

©2000 Izumi Kato

撮影：奥村基



[3] 《無題》2007 年

©2007 Izumi Kato

撮影：木奥恵三



[4] 《無題》2011 年

©2011 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[5] 《無題》2016 年

©2016 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[6] 《無題》2021 年

©2021 Izumi Kato

撮影：岡野圭

□ 平面と立体、様々な素材と表現

油彩画を中心に制作している加藤ですが、2000 年代前半から立体作品をつくりはじめ、その後、布作品やリトグラフ、さらに近年は伝統的な浮世絵版画にも表現の領域を広げています。立体では木彫にはじまり、ソフトビニールや石、金属、さらにはプラモデルも取り入れた多彩な制作を行っています。立体作品を制作したことで、ペインティングに対する彼なりの理解が深まり、現在では相互に制作しながら独自の表現世界を拓けています。手のひらに載るような小さなものから見上げるほどの大型作品まで、バラエティーに富んだ表現が楽しめます。



[7] 《無題》2007 年

©2007 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[8] 《無題》2014 年

©2014 Izumi Kato

撮影：渡邊郁弘



[9]《無題》2021 年（2 点組）

©2021 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[10]《無題》2022 年

©2022 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[11]《無題》2024 年

©2024 Izumi Kato

撮影：岡野圭

□ 音楽活動、プロダクト…etc. 拡張するクリエイション

加藤はソフトビニールやプラモデルを素材として利用するだけでなく、自らのデザインによるプロダクトも制作しています。また、服飾ブランドや最近では、京友禅の着物の老舗、千總とのコラボレーションも行っています。一方、THE TETORAPOTZ、そして HAKAIDERS のメンバーとしてバンド活動も行い、レコードのアートワークも手がけています。本展ではこうした幅広い分野に拡張するクリエイションも紹介します。

□ 内藤廣設計の個性的な空間に広がる「加藤泉展」

それぞれ個性が異なる3つの展示室を使う本展では、内藤廣設計による空間とのコラボレーションも見どころのひとつとなります。

展示室 A:美術館の外観を覆う石州瓦(赤瓦)をイメージした、床や壁、天井が赤い展示室。小型作品やプロダクト、映像などによって、約 30 年の活動をコンパクトに振り返ります。

展示室 C:高い天井から自然光が降り注ぐ空間に、大型作品によるインスタレーションを展開。

展示室 D:1,000 m²の大展示室に学生時代の習作から最新作までを一堂に会し、アーティスト・加藤泉のこれまでの「道」をたどります。



[12]《無題》2014 年

©2014 Izumi Kato

撮影：佐藤祐介



[13]《無題》2019 年

©2019 Izumi Kato

撮影：岡野圭



[14]《無題》2024 年（映像作品）

©2024 Izumi Kato

撮影：Tsukasa Uozumi（スチール）

□ 会期中のイベントも盛りだくさん！

加藤泉によるトーク、THE TETORAPOTZ のライブなど、会期中に様々な関連プログラムを開催予定。詳しくは展覧会ホームページ等でお知らせします。

【問合せ先】

島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL 0856-31-1860(代表) 0856-23-2050(学芸) FAX 0856-31-1878

<https://www.grandtoit.jp> e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

担当：川西、大谷(学芸) 上野、田原(広報)

※広報用画像の請求方法等は、準備が整いましたら後日ホームページ上でお知らせします

※当館ホームページは3月下旬にリニューアルを予定しています。本展ホームページは5月以降に開設予定です。

【基本情報】

会 期 2025年7月5日(土)～9月1日(月)

主 催 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社

開館時間 9:30～18:00 (展示室への入場は17:30まで)

休館日 火曜日 (8月12日は開館)

観覧料 当日券 一般 1,300(1,050)円、大学生 600(450)円、高校生以下無料

前売券 一般 1,100 円、大学生 500 円

* ()内は20名以上の団体料金

* 企画展のチケットでコレクション展も観覧できます